



あっという間に11月も中旬です。今年もあと、1ヶ月と少し・・・早いものです。暑い暑いと言っていたのがウソのように秋も深まってきました。昼間、太陽が出るときと出ないときとでは、格段に気温が違います。また、晴れているときでも、朝夕と日中では気温差がありますね。そのせいか、風邪が流行っているようで私の周りでも咳をする人が増えています。どうかご自愛下さい。

《12月議会が始まります》

12月2日から定例議会が始まる予定です。

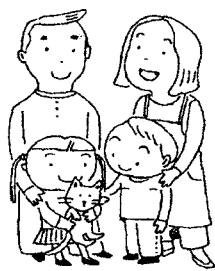
一般会計と特別会計を併せた連結決算の状況があまり芳しくないこともあり、和歌山市は一段と市民負担を増やす方向に走ろうとしています。しかし、財政が厳しいといいながら、市民生活にしわ寄せをすることは許されません。市民全体から見て不公正な事業はないか、不要不急の事業はないか、計画通り進んでいない事業は本当に市民の要求に合致しているものなのか、それを見極めるのが地方自治体としての仕事です。また、そういう視点で事業の中身をチェックするのが議員の仕事です。

12月議会も4人で力を合わせ、奮闘したいと思います。



和歌山市は資格証明書の発行数が県下でも中核市でも多い市となっており、共産党市議団はその改善をたびたび求めてきました。資格証を一律に発行する

影響を被ることが全国的にも問題となっております。保険料を納めることはもちろん必要ですが、市民の経済状況は年々、困難になって来ており保険料そのものが高すぎることに



が、市がその窓口となつて事務をしていきます。健康保険証は保険料を滞納していれば短期保険証の交付、また、納めていないと資格証明書のみ交付となつてしまいます。

資格証では窓口の負担が10割となるため重症化するまで我慢するという事態を招きます。中でも急変しやすい子供がその影響を被ることが全国的にも問題となっております。

もあいまつて、払いたくても払えない方がそのほとんどです。市はそういう状況を細かくつかみ丁寧な対応が望まれます。少なくとも子供だけでも資格証対象から外し、保険証の発行を求めていきます。



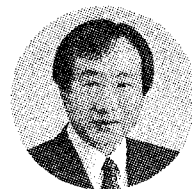
和歌山市では300人あまりの子どもが保険証がなくて医者にかかれぬ！

大阪府、堺市について近畿ワースト3

こんにちは！
(ふじい けんたろう)

藤井健太郎

です



灯油18リットルが9月に2400円だったのが、先週は1600円にまで下がっていました。重油、軽油やガソリンなども一気に値下がりしていますが5、6年前と比べると依然高値です。

諸物価の高騰に加え、アメリカ力発の金融危機の影響と田高が県内企業の景況感を冷え込ませ、年末の資金繰りへの懸念が寄せられています。

そこで、県議団は県信用保証協会を訪れ、中小事業者の資金需要への対応について懇談しました。経営状況が悪化している618業種について無担保で8000万円まで保証することや、県が新たに設けた8000万円を限度に10年返済の再借換融資制度の利用見通しなど意見交換しました。保証協会が保証しても銀行が首をタテにふらなると融資の実行はできません。紀陽銀行との懇談も予定していますが、県のしっかりとした姿勢も求められています。

「特定健診」って？

ご存知ですか？

名称が変更？

森下さちこの場合

和歌山市から今年5月、国民健康保険に加入している40歳以上74歳までの方に「特定健診を受けましょう」という通知がありました。

①受診券はどこに？

私も先日、11月30日までだというのであわてて健診を受けようと電話しました。受けるにあたって、5月に送られてきた通知の中の「受診券」が要ると言うのです。私は、その通知を読んだのですが、「メタボ健診」は、私には関係ないと読んだ後、捨ててしまったのでした！

②いざ！健診・・・

昨年までは「基本健診」という名前で市内の医療機関を通じて、血液、心電図、胃レントゲン、肺レントゲン、などの検査を受ける制度となっていました。しかし、今年からは「特定健診」という名前に変わり健診の内容も変わっています。

さて、再発行してもらった受診券を持って健診に出向きました。

まず、健診の前に自分で問診表に記入します。しかし、検査が進んでいくうち、昨年と内容が変わっていることに気づき、ドクターに聞いてみました。

ドクターいわく、この「特定健診」という制度はとにかく煩雑で医者にとっても分かりにくいものになっている。検査も必要であることを一つ一つ理由付けをせねばならない。早くもこの制度に戻して欲しいというものでした。

①低い受診率

30%から10%へ

実際、特定健診になってからの受診率は10%とかなり低い数字になっており、分かりにくい制度に加えて、2000円の自己負担も大きな原因となっているようです。(海南市、紀の川市は無料)

健診というものは、早期発見・早期治療が目的であり、受診率が上がれば医療費を少なくすることもつながります。国は予防医療のあり方をとらえなおす必要があると痛感した健診でした。



「中小企業緊急融資」

和歌山市にて受付スタート

共産党市議団は、6月11日に市長へ「原油・石油高騰から市民生活と経営を守るための要望書」を提出し、6月議会、9月議会と具体策を高めるよう求めてきました。これを受けて市はこれまでの中小企業の融資制度を拡充または緩和し、セーフティネット保証として受付を始めています。ぜひ活用してください。

【受付実施期間】

11月10日から来年3月31日まで

【問い合わせ】

産業総務課 (435) 1040

日本共産党

です

うどんの製麺業者さんとお話したときの事です。

最近原料の値上がりや冷凍ものの利用の増加などで経営は厳しいとのこと。

「政治に望むことは？」とお聞きすると「小泉さんに期待したけどダメでした」「若者が希望の持てる日本にしてほしい。日本に生まれて良かったと言えるようになればいいけど・・・」と話されました。

数日後、若者の集まりに参加した際、求職中の人、経済的な理由で受診を控える人を目の当たりにして胸を痛めている診療所勤務の人、高い保育料に悩む人などからさまざまな怒りや不安をお聞きました。「希望ある日本」の実施へ力を尽くします。



お気軽にどうぞ

- ◇ 毎週木曜日 午後1時～4時
森下さち子事務所 (475) 8122
- ◇ 11月28日 午前9時～11時
生協芦原診療所 (423) 4349